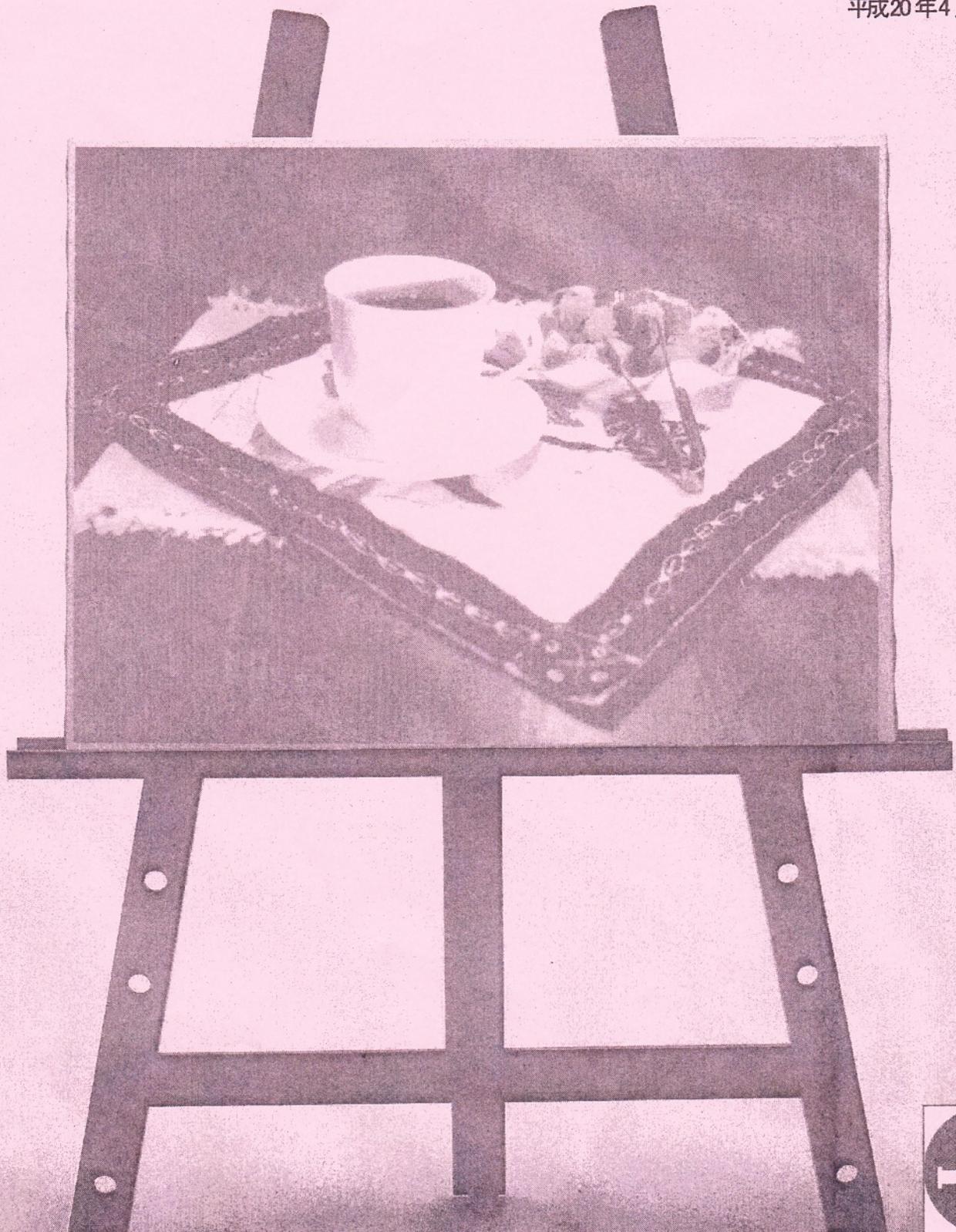


岐阜市民会館・岐阜市文化センター 市民スタッフ活動報告誌

G-free

第3号

平成20年4月30日



第29回ぎふアジア映画祭

G-free 大江 繁美

『第29回ぎふアジア映画祭を終えて』

第30回にむけて一平成19年9月25日から11月18日の期間、全18作品のアジア映画を上映いたしました。多くの方々にご来場いただきまして、お礼を申し上げます。

映画上映の他に、ゲストトークとして『ジュウブンノキュウ』の脚本家で岐阜市出身のなるせゆうせい氏をお招きしてのトーク、また『幸福のスイッチ』ゲストトークには、安田真奈監督をお招きしての対談を行いました。



▲ インド企画 サリー体験

最終日のインド特集には、インド古典舞踊や文化の紹介などを企画いたしました。楽しんでいただけましたでしょうか。

平成20年は、30回ということで、スタッフ一同、素晴らしい映画の選定、楽しい企画と頑張っています。そのひとつとし

て、映画祭の期間以外に、アジア以外の国の映画を定期的に、上映していきたいと思っています。どうぞ今年のぎふアジア映画祭を楽しみにしてください！



▲ 安田真奈監督との対談

▼ 脚本家:なるせゆうせい氏と俳優:石澤 智氏をかこんで



石澤 智氏

なるせゆうせい氏

市民スタッフ企画 vol.3 映像づくりワークショップ

G-free 石樽 昇司

『レポート』

昨年12月中旬の3日間を使った「市民スタッフ企画のワークショップ」です、お題は「待ち合わせ」。映画を作りたいと言う熱気にあふれた3日間の始まりです。参加申込も予想を超えてありましたので、AB二班に分かれての制作となりました。私たち市民スタッフはC班です。

初日は 最初にシネマスコーレの支配人 木全純治さんを講師に向かえてのガイダンスです。「映画は 観る 撮る 批評する」「この映像作りではドグマ式で行う長さは5分程度」「脚本はキャラクターの設定が一番」「カット割りを考える」など興味深いお話です。つづいて柳ヶ瀬をロケハンして アイデアを出し合い作品&監督の決定 脚本作り スタッフ&キャストの割り振り。C班は私が監督です。“ホラーにチャレンジ、そして対話シーンを撮ってみたい！”というコンセプトの脚本ができました。



▲ 撮影現場(柳ヶ瀬)

二日目は いよいよ撮影です。照明や美術はなし シーン、カットはストーリーの時間順に撮影(小津安二郎形式)カメラは三脚固定で、水平に振るパンも垂直に振るテイルトもズームもなし(迷子の警察音楽隊風)で行います。映画作りなんて初めての集団ですから予期せぬ事ばかり。会話の音が拾えないは、通行人のおじやまになるし、絶妙のタイミングで福引きのベルは鳴るし、“カット”の連続。ロケしてるという実感がわきます。三日目は編集です。

後日各班の作品を 小劇場で上映して 批評会です。かなり皆さん遠慮がちでしたが批評をして発言するのも映画です。

最後の交流会ではこのワークショップで初めて会ったもの同士が熱く語り合い次回の映像づくりでの再会を約束して解散しました。 追伸 4日間を指導して下さった木全純治さん、ありがとうございました。



▲ C班 脚本作り



市民スタッフ企画vol.4「薄れゆく記憶のなかで」

G-free 田中 敏治

『上映とトーク、座談会を終えて』

全編岐阜ロケ映画である「薄れゆく記憶のなかで」。撮影現場の今は…？をテーマにロケ地を再訪して撮影、暑いよ、寒いよ、5ヶ月間東奔西走。

まずは、市街北方に在する真福寺へ。本堂西方の山裾に広がる広大な墓地にて眼下に岐阜市街を一望する。夜になると明かり無し。主演男女2人の肝試しシーンが撮影された場所。住職の話によると、通路が改修されたとのこと、映画のシーンでは暗闇の中僅かな照明のみ。真夏の夜は今でもデートスポット…？

岐阜北高校は篠田監督の出身校。校門正面の大時計は映画撮影当時と少しも変わらず渡り廊下も変化無し。授業終了後音楽室での吹奏学部練習風景を撮影する。演奏は迫力満点であった。

プラットホーム、車輛は当時のまま保存されている谷汲駅。周囲の風景もほとんど変わらず秋風が心地よく吹き抜けてゆく。風に乗って焼き栗の甘い香り。紅葉も味わったかな…。撮影スタッフも何となく、ふんわりとした気分を漂わせている様子だ…。この雰囲気カメラで表現は難しい。残念。

映画中、高校生たちの打ち上げ会場である「鈴虫水車」は現在も元気で営業中。メニューも変わらず店主の想いもひとしおの様子。当時の写真・ポスター等々保存している。今でも「薄れゆく記憶のなかで」のファンが遠方より食事に訪れるという。長良河畔の山裾に佇み、夏は涼しいだろうなあ。”田楽”がうまい。

素人撮影班に色々ご協力賜った関係者の皆様に感謝いたします。

3月1日の本番。映画上映後、トーク、座談会、更には市民スタッフ企画名物「当時のコーヒーを再現」等々の楽しいイベントが続いたが、お客様はもちろん、一番楽しんでいたのは篠田監督と司会の岡村さんだったと思う。ありがとうございました。あ～楽しかった。

ロケ地再訪撮影班一同



▲ 撮影風景

▼ 名物 石樽さんのコーヒー



しが文化サポーターズ会議 in 草津

G-free 山田 祥子



▲ 山田さんの報告

3月30日、財団法人滋賀県文化振興事業団主催「しが文化サポーターズ会議」の県外ゲストスピーカーとしての依頼があり、G-freeとして私、田中さん、中島さん、大江さん、職員高橋さんが、しが県民芸術創造館に行きました。

基調講演の後、サポーターズの実践報告がありました。私はG-freeとして、ぎふアジア映画祭の作品選定やゲストトークイベント企画、上映会運営など皆が得意分野で活動している事を話しました。大江さんは、チラシ・ポスターのデザインや

映像制作をしていることなど話されました。滋賀県内の様々な文化サポーターズの悩みや問題点を聞くと、岐阜の私たちは自由にのびのびと自主的に活動でき恵まれているなと感じました。これからもスキルアップしつつ、仲間と楽しく活動したいと思います。



▲ 大江さんの後方には田中さんと中島さんの姿も…

市民スタッフ(G-free) 紹介



大江 美穂(ニックネーム/みほさん?名前です。)

主な担当:ぎふアジア映画祭

『肝心要の素。』



ちょっとばかり映画が好きだというだけで何気なくはじめたお手伝いも、もう6年目?じゃないでしょうか。会うことはなかったかもしれないひとたちとの出会いがあって 希有な体験があって、いつも物や事の奥深さを教えてもらっています。なんだかありがたいですね。それから思いがけないときどきわくわくも。盛り沢山で全部書こうとすると、この冊子あと10ページくらい必要になるのでそれはやめます。出来ることは今も手探りですが…せっかくだからもう少し続けさせてもらっちゃおうと思っています。どうぞよろしく。目指すは、心揺さぶる映画祭!です。

窪田 百代(ニックネーム/特になし)

主な担当:ぎふアジア映画祭



今から4年前、よく行くブティックの店長が、互いに映画好きということで、偶然お店に来ていた大江さんをひきあわせてくれました。…簡単にあいさつをしてシアターペルルへ。座ってふと横を見ると、大江さんが隣にいてびっくりしました。「よかったら市民スタッフやってみない?」と誘われて今に到っています。曲者揃いの楽しいメンバーに囲まれ、アイデアが実現していく。これって私の人生のシナリオ?だとしたら、映画の神様プレゼントありがとう。私は今日も映画漬けの一日です。

集え市民スタッフ!

文化事業等の活動を通して、文化・芸術に触れる喜びや楽しみを知ってもらうこと、文化・芸術活動をコーディネートする人材を生み出すことなどを目的として「市民スタッフ=G-free」を募集しています。詳しくは文化センターまでご連絡下さい!!



【活動内容】

- * 文化事業の新規企画検討
- * ぎふアジア映画祭の運営
(作品選定・企画・広報等)
- * 市民会館・文化センター主催事業の補助
(当日の受付・案内(表方スタッフ)等)
- * カメラ・ビデオなどの記録撮影
- * ホームページ・会報作成
- * その他



岐阜市民会館

〒500-8812 岐阜市美江寺町2丁目6番地
TEL058-262-8111 FAX 058-262-8114
<http://www.k5.dion.ne.jp/~civic/>



岐阜市文化センター

〒500-8842 岐阜市金町5丁目7番地2
TEL058-262-6200 FAX 058-262-6229
<http://www.k4.dion.ne.jp/~culture/>

